証拠説明書の作成要領

* 証拠説明書は以下の記載例を参考に３通作成し，うち２通を裁判所に提出してください。残りの１通はご自分の控えとしてお持ちください。

①「号証」・・・証拠の書類に付した書証番号を記載してください。

　　　※　書証番号：原告提出分は「甲第１号証，甲第２号証・・・」，被告提出分は「乙第１号証，乙第２号証・・・」となります。番号は，提出の順序に従い，物理的に１個の文書ごとに，第１号証から順次付してください。

②「標目」・・・その文書の題名等を書いてください。また，その文書の原本を所持している場合は「原本」，原本を所持していない場合は「写し」と書いてください。

　　　※　文書の原本を所持している場合は，期日にその原本を持参してください。

③「作成年月日」・・・その文書が作成された年月日を記載してください。

④「作成者」・・・その文書を作成した人を記載してください。

⑤「立証趣旨」・・・その文書によりあなたが証明しようとしていることを，具体的に記載してください。

令和○○年（家ホ）第○○○○号

**記載例**

原　　告　　甲　山　花　子

被　　告　　乙　川　一　郎

証　拠　説　明　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○○年○月○○日

　横浜家庭裁判所人事訴訟係 御中

　　　　　　　　　　　　原告　　 甲　　山　　花　　子　 印

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 号　証 | 標目  （原本・写しの別） | | 作　成  年月日 | 作成者 | 立　証　趣　旨 | 備考 |
| 甲１ | 全部事項証明（戸籍） | 原本 | 22.11.12 | ○○市長○○○○ | 原被告が婚姻している事実 |  |
| 甲２ | 全部事項証明書（建物） | 原本 | 22.11.13 | 横浜地方法務局登記官○○○○ | 原被告共有名義の不動産の存在 |  |
| 甲３ | 預金通帳  写真  　撮影対象　原告の携帯電話（受信した電子メールの画面）  　撮影日時　22.11.15  　撮影場所　自宅 | 写し |  | ○○銀行○○支店 | 原被告が別居をした当時，原告は○○銀行○○支店の口座に１５０万円の定期預金を有していた事実 |  |
| 甲４の１～４ |  |  |  |  | 被告が，平成22年1月20日に原告に対して暴力を振るったことを認める電子メールを送信している事実 |  |